

2017(平成 29)年度  
立正大学大学院地球環境科学研究科  
環境システム学専攻  
第 1 回 中間発表会

日時：2017年5月31日（水） 10:00 - 16:25

会場：熊谷キャンパス 2101 教室

10:00 - 10:05 開 会

<M1 発表> 発表 10 分+質疑応答 5 分 (計 15 分)

座長：鈴木パーカー明日香

10:05 - 10:20 佐藤勝哉 (白木研)

ひまわり8号を用いた北西太平洋における孤立積雲と大規模組織雲の関係

10:20 - 10:35 吉田理緒 (河野研)

水辺の環境がもたらす癒し効果の定量的研究

10:35 - 10:50 上田有佑 (白木研)

竜巻を伴った台風の発生環境場の特徴

10:50 - 11:05 伊藤智洸 (渡来研)

地表面状態の季節変化が都市と郊外の水蒸気量差に及ぼす影響

11:05 - 11:20 休 憩

<M1 発表> 発表 10 分+質疑応答 5 分 (計 15 分)

座長：下岡順直

11:20 - 11:35 相澤穂高 (川野研)

北部フォッサマグナ地域に分布する深成岩類の岩石学的研究

11:35 - 11:50 根岸佑典 (岩崎研)

小笠原村父島におけるアオウミガメの行動と人間活動の影響

11:50 - 12:05 森泉慎一 (吉崎研)

NICAMによる水惑星理想化実験における地球温暖化時の大気大循環の変動

12:05 - 13:00 昼休み

<M2 発表> 発表 15 分+質疑応答 5 分 (計 20 分)

座長：青木和昭

13:00 - 13:20 永瀬健太 (岩崎研)

谷津干潟におけるアオサに付着するカイアシ類の生態学的研究

13:20 - 13:40 青木翔太 (渡来研)

風上側山地の鞍部が那須おろしに与える影響

13:40 - 14:00 浅石 望 (吉崎研)

富士山周辺に発生する山岳波の数値モデルによる再現実験

— 吊るし雲とBOAC機の空中分解事故 —

14:00 - 14:20 山崎優佑 (須田研)

鳥類の地上と樹上での歩行の関連性

14:20 - 14:30 休憩

<M2 発表> 発表 15 分+質疑応答 5 分 (計 20 分)

座長：岸 和央

14:30 - 14:50 谷口健太 (北沢研)

谷津干潟の潮流口における地形とアオサの関係

<D2 発表> 発表 15 分+質疑応答 5 分 (計 20 分)

14:50 - 15:10 船生泰寛 (河野研)

不定期に出現する湖沼の水収支 — 赤城山山頂火口湖「血の池」の事例 —

15:10 - 15:30 中村祐輔 (中川研)

中小規模都市におけるヒートアイランド形成メカニズムに関する研究

— 高密度気象観測網データの活用 —

15:30 - 15:40 休憩

<D3 発表> 発表 15 分+質疑応答 5 分 (計 20 分)

座長：関根一希

15:40 - 16:00 町田和彦 (須田研)

ヤマコウモリ (*Nyctalus aviator*) の季節的移動様式と繁殖生態に関する研究

16:00 - 16:20 高咲良規 (吉崎研)

さまざまな環境場と地形のもとに発現した大気擾乱の構造と時間変動に関する研究

— 台風9119号によって青森県に発生したおろし風について —

16:20 - 16:25 閉会